

美術館構想について

- 利用している人だけではなくて、県民全体の思いが大事。
- 県として持つことには、相当シュミレーションをしておかないと、今までの施設の二の舞三の舞になる可能性があるということを危惧する。最初は人が入るが、常にイベント等を打っていないとなかなか人が入らない。人が呼び込めるだけの絵とかを大分で借りれるかという、これも難しい問題。これでは運営的に難しいのではないかという気がする。
- 小さい頃からの鑑賞教育に力を入れ、教育分野、鑑賞者を育てて欲しい。また芸短大や高等学校の作品を取り上げるなど、若い力を育てていくことも取り入れて欲しい。
- フリースペースがあって、小学生や中学生が楽しく鑑賞に行けて、一生関わっていこうという心が育つような空間が欲しい。
- 收藏と保存という点が大事。
- 本当に有名な誰かの 1 点があると良い。大分県としての誇りになり、日本全国から観に行こうというような動きがあるのではないか。